

事業番号	10 03 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分） ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	県産材需給体制整備事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
		実施期間	H14 ～	E-mail	mokuzai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	労働生産性				
総合的に展開する重点政策	2-2 地域内経済循環の促進				
	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進				

1 現状と課題

目指す姿 ・ これまでの取組	【目指す姿】 県産材を効率的・安定的に供給する基盤づくりや木質バイオマスエネルギーの利用促進を図る体制を整備して、森林資源を有効に活用することにより、地域を支え持続的に発展する競争力の高い林業・木材産業の構築 【これまでの取組】 木材事業者への運転資金の低利融資、木材市況・流通調査の実施、木材加工・流通施設及び木質バイオマス利用促進施設の整備	
	課 題 本県の森林資源の成熟に伴い、県内における素材生産量は増加傾向にあることから、県産材製品の出荷量や木質バイオマスの利活用をさらに拡大する必要がある。 このため、県産材の加工・流通体制の整備や、チップ、ペレット、薪などの木質バイオマスの利用促進を図る必要がある。	今後の方向性 ・公共建築や住宅建築などでの県産材利用拡大を図るため、 県産材を製材・加工する施設整備への支援 を実施 ・チップ、ペレット、薪など地域内で完結する比較的小規模なエネルギー利用を実現するため、 木質バイオマスを利用する施設への支援 を実施。

2 令和3年度事業内容

予算のポイント・ 主な取組(予定)	✓ 県産材を製材・加工する施設整備への支援 ・木材加工施設整備(3箇所)		
	✓ 木質バイオマスを利用する施設への支援 ・木材をバイオマス燃料にするためのチップ・ペレット加工施設の整備(3箇所) ・木質バイオマスを熱利用するための燃焼機器の整備 (ボイラー5台、ストーブ30台)		
			
	製材施設事例	チップ加工施設事例	ペレットストーブ例

指標の状況及び目標値 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業コスト	前年度繰越	R1年度	R2年度	R3年度	
1	素材(木材)生産量(千m ³)	540	564	↗	564		→	0	659,897	421,888	要求 496,779 予算案 —
2	県内の製材品出荷量(千m ³)	96	96	→	96		→	0	0	要求 496,779 予算案 —	
3	木質バイオマス生産量(千m ³)	55	75	↗	155		↗	2,136	1,613	要求 1,322 予算案 —	
4											
5											
								決算額(B)	469,963		
								職員数(人)	4.8	3.8	4.6
成果指標設定理由	①県産材の利用促進の効果を評価するための指標：総合5か年計画の目標値を踏まえ設定 ②県産材の利用促進の効果を評価するための指標：総合5か年計画の目標値を踏まえ設定 ③木質バイオマスの利用促進の効果を評価するための指標：総合5か年計画の目標値を踏まえ設定										

事業名	県産材需給体制整備事業	部局	林務部	課・室	県産材利用推進室
-----	-------------	----	-----	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
1	地域木材産業活性化推進事業	276,503 千円	267,499 千円	要求 267,499 予算案 - 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	木材産業等高度化推進資金貸付 農林漁業信用基金償還金 木材市況等調査費	直接	木材産業の動向把握と育成強化及び活性化を図るため、運転資金の低利の融資、木材市況及び流通調査を実施

細事業 No.	細事業名	R 1 年度 当初予算	R 2 年度 当初予算	R 3 年度 当初予算
2	木材産業成長産業化促進対策事業	383,394 千円	154,389 千円	要求 229,280 予算案 - 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)
1	木材加工流通施設整備費 木材バイオマス利用促進施設整備費	補助金	木材産業の競争力強化を図るため、県産材の加工・流通と木質バイオマスの利用を促進する施設整備を支援(11者)